

SKYWARD

February 2011

2



オーストラリア

南の果ての空の下

Australia

Thailand **タイ**

レトロバンコク散歩

北九州 Kitakyūshū

寛容さとこだわり モノ作りの街へ



ご搭乗のお客様はご自身で
お持ち帰りください。

いのちの共生を、未来へ
JALは生物多様性の取り組みに
協力しています。



南の果ての空の下

オーストラリア大陸最南端の都市、メルボルン。

さまざまな民族の人々が暮らすこの街は、

融合した文化の発信地。

そして、車でさらに南へ1時間半ほど走れば、

豊かな自然が広がる

モーニントン半島に辿りつく。

文・絵 柴崎友香 撮影 伊藤徹也

オーストラリア

Special Feature

Australia

Text & Illustrations by Tomoka Shibasaki Photographs by Tetsuya Ito

モーニントン半島の海岸では、乗馬を楽しむことができる。波打ち際まで馬は足を進める。

モーニンントン半島

Mornington Peninsula



冷え込みが厳しくなってきた東京から夜に飛行機に乗り、翌朝降り立ったメルボルンは夏の始まり。雲ひとつない真っ青な空の下、暖かい風が吹いていた。空港から車で約2時間、広々とした風景のなかを南へと走り抜けてモーニンントン半島へ。立ち並ぶ背の高い木は、ユーカリ。オーストラリアといえはユーカリだが、実は数百種類もある。灰色がかった緑の葉や明るい黄緑など表情のある緑が混じり合う。

乗馬



Horse Riding

冷え込みが厳しくなってきた東京から夜に飛行機に乗り、翌朝降り立ったメルボルンは夏の始まり。雲ひとつない真っ青な空の下、暖かい風が吹いていた。空港から車で約2時間、広々とした風景のなかを南へと走り抜けてモーニンントン半島へ。立ち並ぶ背の高い木は、ユーカリ。オーストラリアといえはユーカリだが、実は数百種類もある。灰色がかった緑の葉や明るい黄緑など表情のある緑が混じり合う。

のさえ初めてわたしたちは、本当に乗れるのか心配していたが、よく訓練された馬は意外なほどの安定感が。低木のブッシュのなかを進む。視点が高いので見晴らしがいい。白や紫の可憐な花がサマータイムの遅い夕方の日差しに映えていた。「トロツティング」という早足の走法にも挑戦。最初は怖くて鞍にしがみついていたが、だんだんコツがわかって風を切る心地よさを感じ始めた頃、丘の先に光る海が見えた。丘を下り、波の荒い砂浜に出た。見渡す限り果てしなく続く水平線、輝く夕日。空と海の境を指差し、こつちが南？と前を行く彼女たちに聞いてみた。「そう。タスマニアよ」。そのとき、タスマニアのその向こうは南極なのだ、と突然実感した。ここは、南の果ての場所。その感覚は、メルボルンを離れるときまでずっと消えることはなかった。

ビーチ



Beach

まぶしい晴天続きのなか、空の青さを満喫できるビーチへ。ポート・フィリップ湾の内側に面しているのは波は穏やか。カラフルなポートハウスが並ぶ前で、「家内が面白い物に行っている間にひと休み」していた近所に住むおじいさんに出会った。きっと彼が住むあたり、ビーチを望む緩やかな丘陵には、ゆったりした敷地の家が並ぶ。どの家も窓やバルコニーを大きく取り、玄関先や庭には色とりどりのバラが咲き誇っている。



Gunnamatta Trail Rides

150 Sandy Rd., Rye, Victoria 3939
TEL: 61-3-5988-6755
www.gunnamatta.com.au

「ビーチ&ブッシュ・ライド」をはじめ、子供向けのレッスンなど、さまざまなコースが揃う。



夕暮れのモーニンントン半島にて。上は右から、レッド・ヒル地区に並ぶ郵便ポスト、ドライパーに「野生のコアラに注意」と伝える道路標識、シャンク岬の風景。



聞こえてくるのは鳥のさえずりと風の音だけ。自然のなかに、モーニンントン半島の生活はあった。

海岸には、カラフルなポートハウスが並ぶ。近所に暮らすおじいさんは新聞を手に散歩中。



庭園



Garden

本の庭園に比べれば「ぶん若いけど」と案内してくれたのはリンジー・クリエイトさん。およそ220種類、1200株のバラでつくられた迷路はいい香りが漂う。11月から4月までのシーズン中、バラは6回も咲き花が絶えない。太陽の恵みを受けて、どの植物も枝葉は勢よく伸び花は大きい。結婚式も行われる園内、ユーカリの木にはなんと野生のコアラもいるらしい。

苺畑



Strawberry Farm

『サニー・リッジ・ストロベリー・ファーム』の苺も大きかった。日本も含めて世界中の苺を食べたオーナーがウチの苺が「ばん」と自慢するだけあって、実り始めた苺はほどよい甘さで「名付けられたパフェには、大粒の苺が惜しげもなく盛られ、さらにアイスクリームとシャーベ

ットもたっぷりです。子供たちが夢中になって食べていた。

ワイナリー



Winery

豊かな陽光を生かして、ワイナリーも数多く存在する。1982年創業の『クリッテンデン・エステート』は、モーニンントン半島では草分け的存在。2代目のロロさんと、ブドウ畑の見える明るいレストランでいただいたワインは、有機栽培のピノ・ノワール。しっかりブドウの味がしてふくよかでもとてもおいしかった。スペイン原産種のブドウを使った『LOS HERMANOS』はスペイン語で兄弟の意味、ラベルもいろんな遊びをしている兄弟のイラストがデザインされている。このシリーズのうちの一種が2009年、オーストラリアの若手ワイナリーで1位の栄光を得た。「受賞よりも、5週間前に息子が生まれたことの方がうれしいよ」とロロさんは笑う。

父のギャリーさん、マーケティングを担当する姉のゾーイさんも子供を連れて現れ、皆でブドウ畑を見学。ギャリーさんが、「オールド・スタイルさ」と言う、ロロさんもお気に入り、トラクターが裏庭の木陰にあった。この地にブドウを根付かせる苦勞を共にしてきたトラクター。このワイナリーの歴史の始まりを見る気がした。

ラベンダー畑(右)には28種類のラベンダーが植えられている。左はバラの木の迷路。

アッシュコム・メイズ・アンド・ラベンダー・ガーデン | 15 Shoreham Rd., Shoreham, Victoria 3916 TEL: 61-3-5989-8387 www.ashcombemaze.com.au
Ashcombe Maze & Lavender Gardens

サニー・リッジ・ストロベリー・ファーム
Sunny Ridge Strawberry Farm

244 Shands Rd., Main Ridge, Victoria 3928
TEL: 61-3-5989-4500
www.sunnyridge.com.au



摘み立ての苺を堪能する男の子。併設されたカフェでは、苺を使ったデザート(右)を。

太陽の恵みを受けて、どの植物も枝葉は勢よく伸び花は大きい。

クリッテンデン・エステート
Crittenden Estate | 25 Harrisons Rd., Dromana, Victoria 3936
TEL: 61-3-5981-8322
crittendenwines.com.au

下は、クリッテンデン・エステート内にあるレストラン。チーズ入りズッキーニの花のフライ(右)は白ワインと。



上から、『クリッテンデン・エステート』のブドウ畑、ワイン『LOS HERMANOS』シリーズのボトル、開拓時代の思い出深いトラクターを囲むファミリー。





温泉



Hot Springs

丘陵の道を進むと、突如温泉マークの看板が現れる。オーナーのチャールズさんは、仕事で日本に赴任中に訪れた草津温泉でその魅力のとりことなった。世界中の温泉を巡る一方、温泉

が出る可能性を開きつけてこの広大な土地を買い、600メートル以上ボーリングして見事掘り当てた。「オーストラリアには世界各国から来た人がいるから、モーントン半島の大自然のなかで世界各地のスタイルの温泉をみんなが体験できる場所をつくりたい」とチャールズさんが言うとおりの、10年近くかけてつくられた森のなかの温泉では、トルコ式のスチームバスやアボリジニに伝わる薬草の知恵を取り入れたマッサージも受けられ、いろんな国の人がめいめいに楽しむ姿が。水着で温泉も気軽に周囲を散策できるからいい、と日本人としては発見をした気分。チャールズさんが案内してくれたとおきの場所は、つくっている途中の山頂の露天風呂。360度の絶景にすこーんと抜けた青空。天気によればメルボルンまで見えるというこのお風呂は2011年にはオープン予定だそうで、入れる人が心底羨ましくなった。

カフェで温泉とセットになっているパスタをいただく。これが、おいしい！ モーントン半島に来て以来、どこで何を食べてもおいしい。豊富で新鮮な食材と世界各地の味が掛け合われて、お皿の上に結実していた。



左は、地形を生かした設計の温泉。右上から、日本の温泉マークがくりぬかれた壁、オーナーのチャールズさん。

大自然のなかで 世界各地のスタイルの温泉をみんなが体験できる場所をつくりたい。

ペニンシュラ・ホット・スプリングス Peninsula Hot Springs

Springs Lane, Rye, Victoria 3941
TEL: 61-3-5950-8777
www.peninsulahotsprings.com

世界中の温泉を巡ったオーナーのチャールズさんがつくった“理想の温泉”。スパも兼ね備えている。

漁師さん



Fisherman

翌日は風が強い曇り空。モーントンの中心街の港へ立ち寄り、ムール貝や牡蠣を養殖している漁師さんに出会った。漁師さんが鮮やかな手つきでムール貝を開くと、乳白色の身が現れた。レモンを搾っておさるおさるの食べると、海水のほどよい塩気とレモンの風味のなかに、牡蠣のようなミルクイ味、ほろ苦い後味。生のムール貝がこんなにおいしいものとは知らなかった！「ここで試食すると、観光客がすぐに3キロぐらい買っていくよ」というのも納得。

アザラシ



Seals

半島の先端、ソレントからドルフィン・ウォッチング・ツアーに出発。沖へ出ることで20分、突如現れた八角形の建物に近づくと、アザラシが！ しかも何十頭も！ スイムスーツを着た人たちは、次々と海へ入っていく。アザラシは好奇心が強いので、人がいるそばへ泳いでくるものも。はしゃいで泳ぐ人たちののんびり寝るアザラシ、なんだか不思議な光景だ。

残念ながらイルカは少ないシーズンで出会えず。もしかた来る機会があったら今度は海に入ってみようと思いつつ、豪華な別荘の並ぶ岬を海風に吹かれながら眺めていた。



下は、海で獲ってきたばかりのムール貝を試食させてくれた漁師さん。やみつきになる味。



ムーンレイカー・ドルフィン・スイム Moonraker Dolphin Swims

Sorrento Pier, The Esplanade, Sorrento, Victoria 3934
TEL: 61-3-5984-4211
www.moonrakercharters.com.au